

研究課題名	フンガ・トンガ/フンガ・ハアパイ海底火山噴火及び津波に対するトンガ緊急医療支援チーム（TEMAT）出動に関する質的研究
研究期間	2026年 6月 11日 ～ 2031年 3月 31日
研究の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年2月から3月にニューサウスウェールズ大学およびトンガ保健省の倫理審査承認のもとで実施された研究において、半構造化インタビューに参加し、書面による研究参加同意を提供した方 ・トンガ緊急医療支援チーム（Tonga Emergency Medical Assistance Team: TEMAT）の派遣または運用に直接関与した医療従事者、保健省職員、国家緊急事態管理機関職員、または関連機関職員の方 ・フンガ・トンガ=フンガ・ハアパイ海底火山噴火および津波災害（2022年）への対応に関与した方
研究の目的・方法	<p>研究目的：2022年のトンガの海底火山噴火と津波の際に活動したトンガ緊急医療支援チーム（TEMAT）の経験を振り返り、災害時における医療チームの役割や課題、今後の体制強化に役立つ点を明らかにすることを目的としています。</p> <p>研究の方法：すでに倫理審査の承認のもとで実施されたインタビュー調査（22名）で得られた記録を用いて分析を行い、災害対応の流れや課題、工夫された点などを整理し、今後の改善に活かせる知見をまとめます。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：半構造化インタビューの逐語録（文字起こしデータ）およびインタビュー実施記録</p> <p>※既存の研究で収集されたデータを二次利用します。</p> <p>情報の管理責任者： 広島大学大学院医系科学研究科 教授 久保 達彦</p>
利用または提供を開始する予定日	2026年6月11日（実施許可日以降）
個人情報の保護	本研究で広島大学に提供されるデータは、すでに個人が特定できないよう加工された情報のみです。氏名・生年月日・住所等の直接的な識別情報は含まれません。広島大学における研究実施およびデータ管理は、広島大学の情報セキュリティ規程に従って適切に管理されます。
外部への試料・情報の提供	本学から外部への情報提供はありません。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科 教授 久保 達彦</p>

	<p>既存試料・情報の提供機関 ニューサウスウェールズ大学 公衆衛生学部 准教授 デイビッド・ヘスロップ</p>
その他	
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科 公衆衛生学 担当者：Sean Casey, 久保 達彦 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5169</p>